

考動



2023（令和5）年1月19日

福山市立日吉台小学校

6年学年通信

No.27

3学期良いスタートが切れました！！

3学期が始まり、2週間が経とうとしています。新年、そして新学期を迎え、気持ち新たに頑張ろうとする人がたくさんいます。これまでにつけてきた力+1で「考動」している姿もみることができ、頼もしい限りです。このまま益々力をつけていってほしいと思います。

学期初めには学期の目標を立てています。今までのやり方は、学習、生活、友達の3つの観点ごとに、どうなりたいか（目標）、そのために何をするか（方法）について考えていました。しかし、3学期はそれぞれが“ここにこだわりたい”“今までこうだったからこうしたい”という目標を自分で考え、紙に書きました。6年生全体で3学期の目標を交流し、一人一人が決意表明をする良い機会になったと思います。



二学期を振り返って
三学期に頑張ること

六年一組 山下 幸希

一学期に先生が、「言葉遣いに気をつけましょう。」と注意して下さった。その時に僕は、言葉遣いを直そうと思った。

しかし、一学期間は言葉遣いがあり変わらなかった。夏休みが終わり、二学期が始まった時には、僕の言葉遣いは、一学期よりもよくなっていった。これは、自分で一学期を振り返ったからだと思う。名前の呼び方に気を付け、「君」や「さん」を付けて呼ぶことができた。また、暴言も少なくなってきた。人とのけんかもなくなった。すると、一緒に話をする人が増えた。言葉遣いを直して、損はなかった。だから、三学期だけでなく、今後の人生、みんなと仲良くするために言葉遣いを直していこうと思う。

また、授業を受けるときの姿勢や難しい問題でもあきらめずに一生懸命に頑張りたい。特に、苦手な理科・社会・体育・音楽をする時でもみんなと同じようにまじめにできるように頑張る。そして、わからないことは、人に聞いて、聞いたことを振り返り、もう一度自分でやってみる。

この二つは、絶対に頑張ると決めて卒業まで頑張る続ける。

縁の下の力持ち

六年二組 向井 梨乃

今日私は、この「縁の下の力持ち」ということわざの意味である、陰で支える・努力する人の大切さを知りました。

例えば、テレビ番組を見ていると、よく司会者の方やゲストの方など、タレントさんが注目されると思います。しかし、その陰で、看板パーパーを出す人、カメラで撮影する人、編集する人、企画を考える人、メイクをする人など、たくさんの方が関わっています。その一人ひとりの仕事があれば、番組は成立しないと思います。社会の時間に学習したように、ニュース番組には、みんなが今どのような情報を欲しているのかを考えて、取材の許可を取り、取材、編集をし、百人以上の人が関わり合って番組を作っています。そこで、やはり陰ではたくさんの方が活躍していると思います。

冬休み中に見に行った「すずめの戸締り」にも、「大切な仕事は人から見えないほうがいいんだ。」

という、まさに縁の下の力持ちということわざを連想させてくれる名言も出ています。実際、私が陰で支える努力する人の大切さを改めて知るきっかけになった言葉です。

この作文を通して、三学期の目標は「陰で支えてくれる人や努力している人を見つけ、感謝を伝えたり自分も陰で支えられるような人になったりする」というものです。一つの仕事にもたくさんの方が関わっていること、見えないところで頑張っている人がいるから今の生活があることを忘れずに生活しようと思います。